

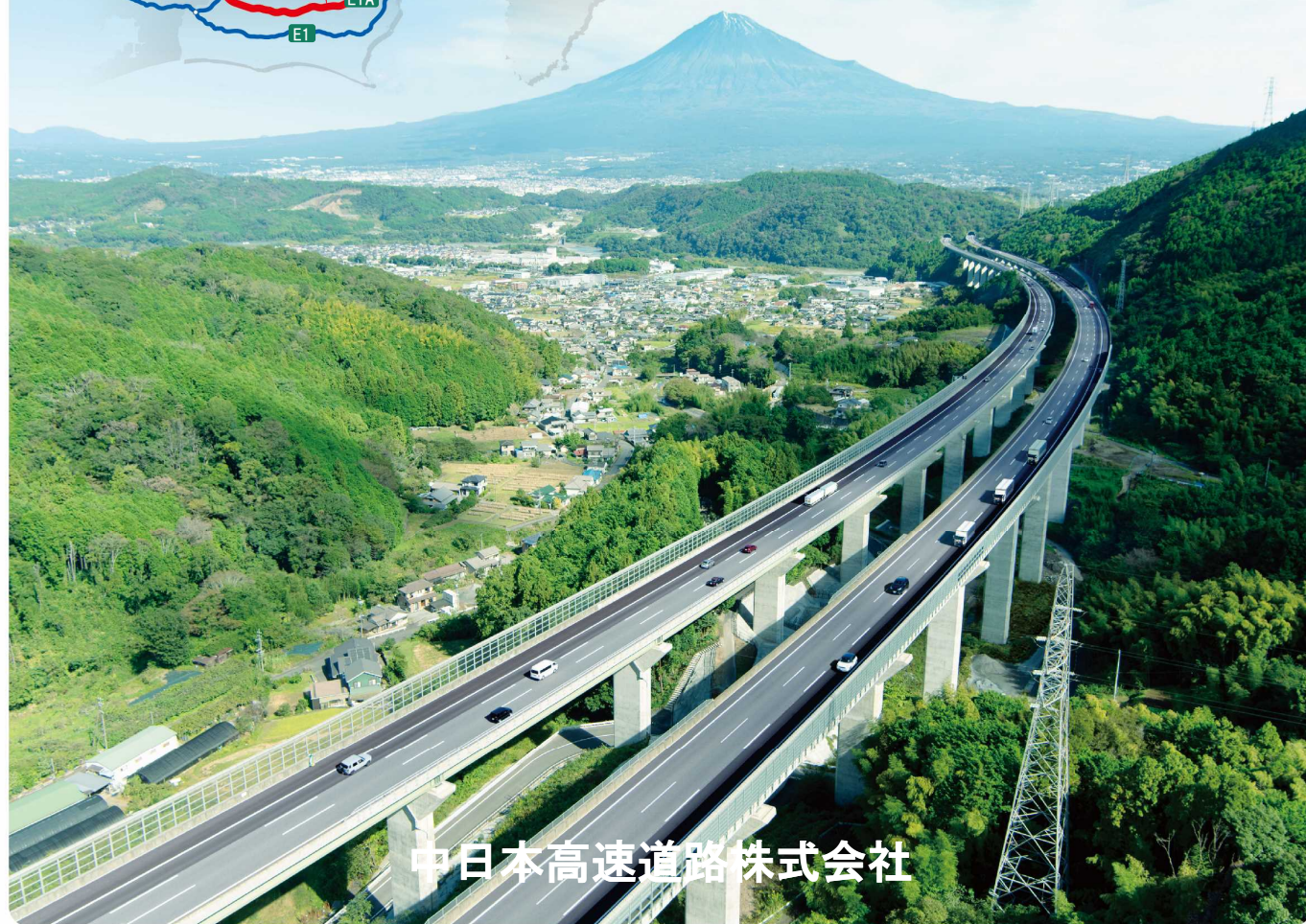
THE 10th ANNIVERSARY
SHIN-TOMEI EXPRESSWAY



新東名高速道路

(御殿場JCT～浜松いなさJCT)

開通10周年



中日本高速道路株式会社

御殿場JCT～浜松いなさJCT開通10周年

○新東名は、日本の三大都市圏のうち、首都圏・中京圏を結んでおり、東名とともに**ダブルネットワークを形成**する道路です。御殿場JCT～浜松いなさJCTは、2012年4月14日に開通し、この度**開通10周年**を迎えます。

開通区間の概要

区間: 御殿場JCT～浜松いなさJCT
 ※清水連絡路、引佐連絡路も同時開通
 開通日: 2012年4月14日(土)
 延長: 162km(清水連絡路、引佐連絡路を含む)
 通過市町村: 11市2町
 御殿場市、裾野市、長泉町、沼津市、富士市、富士宮市、静岡市、藤枝市、島田市、掛川市、森町、磐田市、浜松市



新東名開通当日の様子

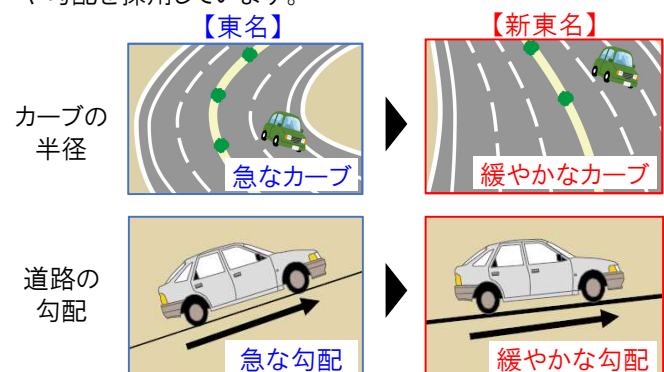


《新東名の歴史》

西暦	できごと
2012年	御殿場JCT～浜松いなさJCTが開通(清水連絡路・引佐連絡路同時開通)
2016年	浜松いなさJCT～豊田東JCTが開通
2017年	新静岡IC～森掛川ICで試行的に最高速度を110km/hに引き上げ
2018年	海老名南JCT～厚木南ICが開通
2019年	厚木南IC～伊勢原JCTが開通
2020年	伊勢原JCT～伊勢原大山ICが開通 御殿場JCT～浜松いなさJCTが全線6車線化され、最高速度が120km/hに引き上げ
2021年	新御殿場IC～御殿場JCTが開通
2022年	伊勢原大山IC～新秦野ICが開通 (2022年4月16日予定)

TOPICS 新東名はより安全・快適な構造に

・新東名は、安全・快適に走行いただけるよう、緩やかなカーブや勾配を採用しています。

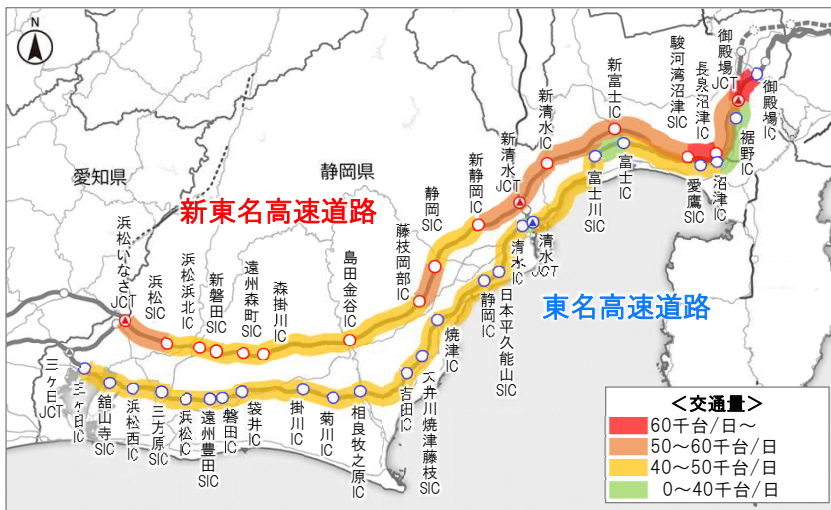


多くのお客さまが新東名・東名をご利用に

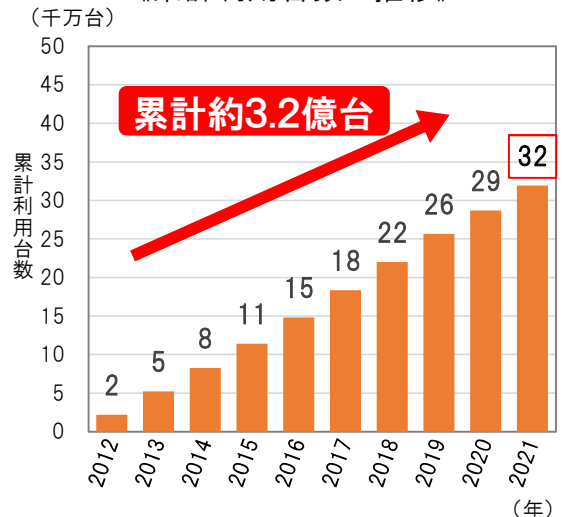
- 新東名(御殿場JCT～浜松いなさJCT)の開通後、ご利用台数は年々増加しており、約10年で累計約3.2億台と、**多くのお客さまにご利用**いただいています。
- また、新東名は長距離の輸送ルートとしてより多くの物流系車両に利用されています。

交通量が増加

《区間別日平均交通量》

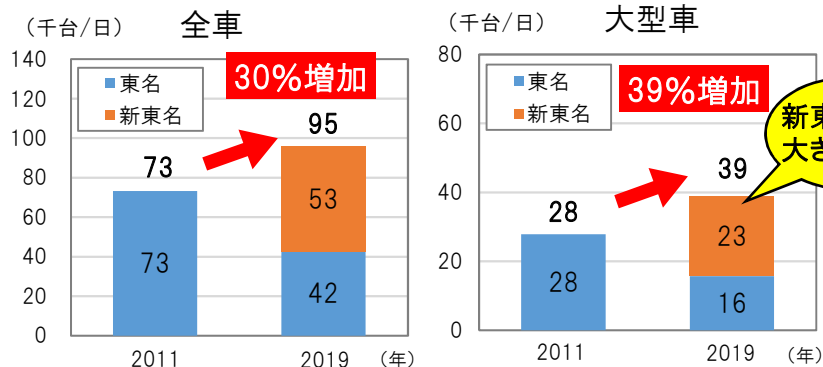


《累計利用台数の推移》



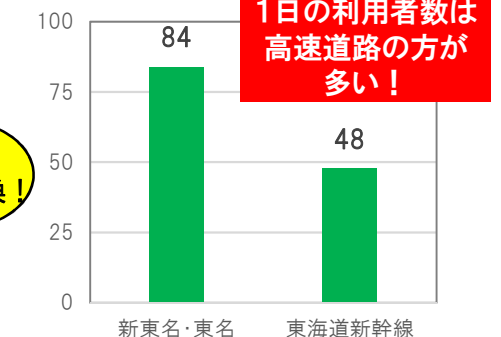
《東名・新東名と東海道新幹線の利用者数》

《日平均断面交通量の変化》



断面交通量：区間ごと(2つのIC間)を通過した台数の平均値
対象区間 東名:御殿場IC～三ヶ岳IC、新東名:御殿場JCT～浜松いなさJCT

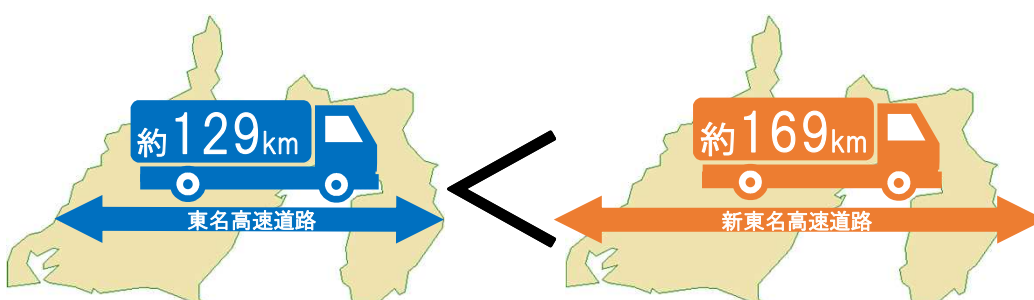
(万人/日)



・新東名・東名高速道路利用データ(2018年度)
新東名(御殿場JCT～豊田JCT)及び東名(東京～小牧)のIC利用台数に平均輸送人数(平成27年度全国道路・街路交通情勢調査)を乗じたもの
・東海道新幹線乗車人員(東京～新大阪)
国土交通省「鉄道輸送統計(2018年度)」の値÷365

長距離の輸送ルートとしての新東名

貨物車1台あたりが利用した高速道路の平均距離は、新東名で約169km、東名で約129kmと、新東名の方が長い移動距離となっており、長距離の輸送ルートとして新東名が利用されています。



※貨物車:運行管理用車載端末が装着された貨物車
(車種は小型車～特大車)

出典:民間プローブデータ(トラブロ®データ)((株)建設技術研究所)

期間:2019年11月
対象車両:下記区間を通過した車両
東名 愛鷹IC～富士IC間
新東名 駿河湾沼津IC～新富士IC間

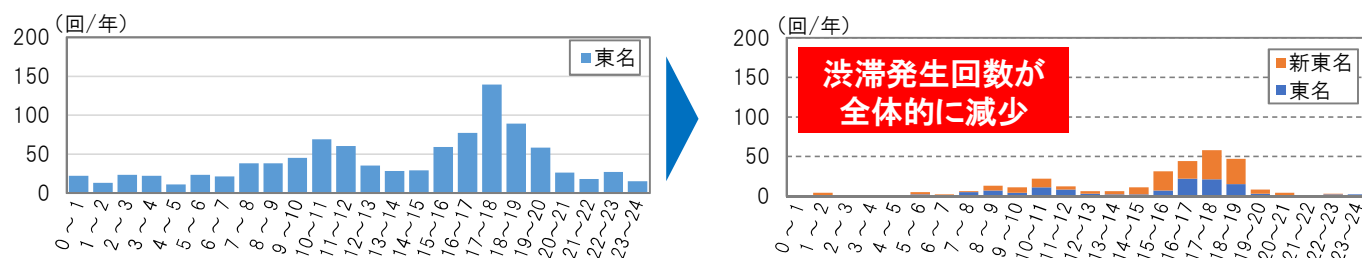
渋滞が劇的に緩和、安全で円滑な交通に

- 新東名の開通後、**渋滞が約7割減少**しました。
- 事故率が減少しているほか、静岡県内を通過する所要時間が短縮するなど、**安全性・円滑性**が高まりました。

交通集中による渋滞発生回数が減少



《時間帯別渋滞発生回数》



《高速道路利用者の声》

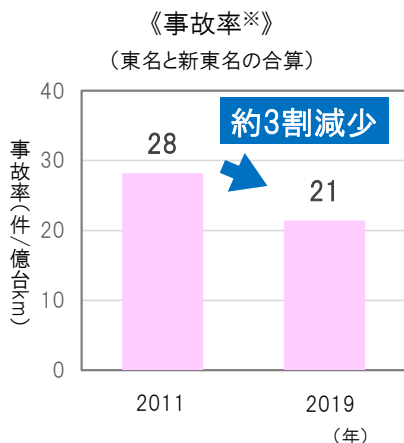
- (30代女性)

祖母の家に行くのに東名を利用していたが、いつも渋滞で大変な思いをしました。しかし新東名ができてから**渋滞も減り、とても快適**に行くことができるようになりました。

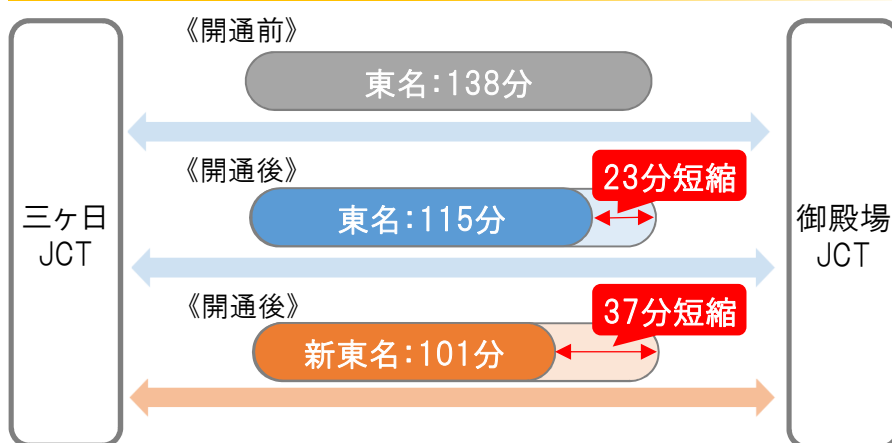
(60代女性)

東名しかない頃は混んでいようがいまいがひとつしか選べようがありませんでしたが、新東名ができてからは、**混雑具合を確認して選べる**ので便利ですね。
- 出典:2021年10月WEBアンケート調査調査結果

事故率が低下



静岡県内の所要時間が短縮



※事故件数を、1台ずつの東名・新東名の走行距離の和で割った、事故の起こりやすさを表す指標

出典:全国道路・街路交通情勢調査(平成22年度、平成27年度)

※所要時間は昼間12時間平均旅行速度の上下平均を用いて算出(昼間12時間:7時～19時)
新東名は引佐連絡路の所要時間を含む

ネットワークの信頼性向上

- ダブルネットワークの形成により、静岡県内で高速道路による東西交通が寸断されるリスクが減少し、東西交通を提供する**ネットワークの信頼性が向上**しました。
- 越波による東名の通行止め時や、東名における高速道路リニューアルプロジェクト実施時には、**迂回路としての役割**を果たしています。

東名・新東名が同時に通行止めとなる寸断リスクが減少

《新東名の開通による東西交通の寸断リスクの低減》



迂回路としての役割

◆越波による、東名富士IC～清水JCT間の通行止め時の迂回路



越波による通行止めの様子
(東名 富士IC～清水JCT)



◆東名における高速道路リニューアルプロジェクト実施時の迂回路



- ・NEXCO中日本では、老朽化した高速道路の本体構造物の機能を維持するために必要な対策を推進する『**高速道路リニューアルプロジェクト**』を進めています。
- ・ダブルネットワークを有効活用することで、計画的かつ社会経済への影響を最小限に留めて、工事を進めることができるようになりました。



山居沢橋(床版取替): 2021年

6車線化により、さらに安全・快適に

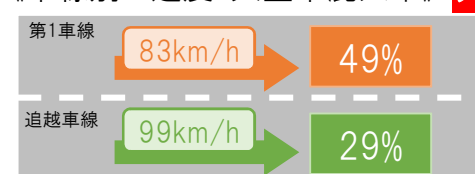
- 2020年12月に御殿場JCT～浜松いなさJCTが**全線6車線化**し、これに合わせて**最高速度規制120km/hの本格運用**が始まりました。
- 車線ごとの利用形態が変化し、危険な追越行動が減少したほか、速度低下が減少するなど、さらに**安全性や快適性**が向上しました。



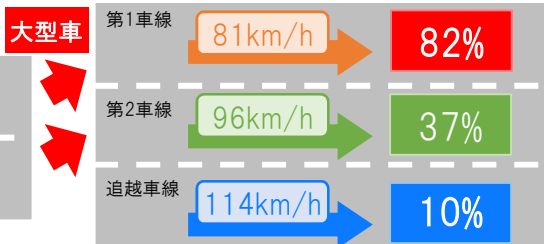
新東名6車線区間

車線ごとの利用形態が変化

《車線別の速度・大型車混入率》



※2車線：2019年11月、3車線：2021年11月
区間：浜松SIC～浜松いなさJCT間(上り)



左：車線別平均速度、右：大型車混入率

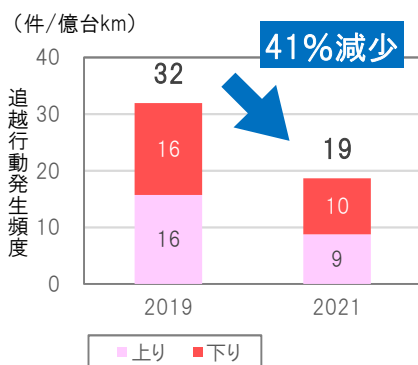
《利用者の声》

規制速度の120キロで走っていても、**快適に移動**することができ(30代女性)ました。

出典：2021年10月WEBアンケート調査結果

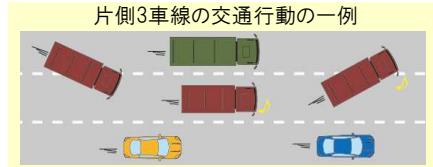
危険な追越行動が減少

《急ハンドル・急ブレーキの状況》



出典：ETC2.0プローブデータ
2車線：2019年11月、3車線：2021年11月
区間：御殿場JCT～浜松いなさJCT間
追越行動：急加速又は急減速し、ハンドルを操作した回数※

※前後加速度が±0.25G以下(急加速orやや強いブレーキ)かつ左右ハンドル操作を行った件数



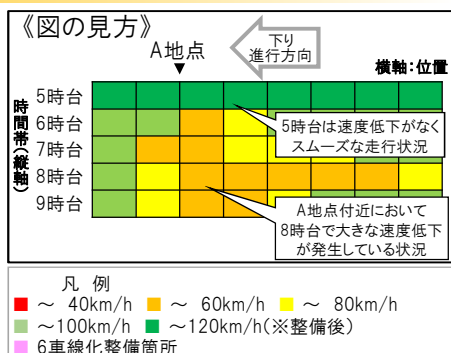
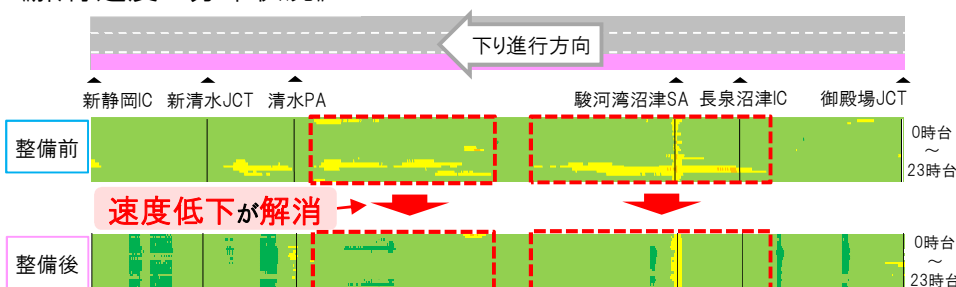
《トラックドライバーの声》

車間距離が広がり、運転時の**圧迫感**が軽減し、**快適に走行**できています。周辺車両の**危険な走行**も減少していると感じます。

出典：2020年7月ヒアリング調査結果

速度低下が減少

《旅行速度の分布状況》



※一部区間では6車線整備前から付加車線が設置されており、開通当初から片側3車線で走行できる箇所があります。

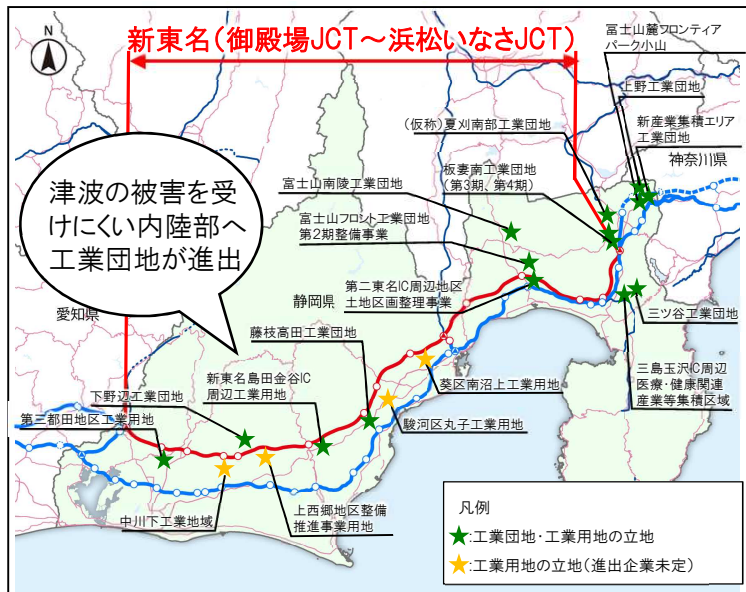
出典：ETC2.0プローブデータ 区間：新静岡IC～御殿場JCT 整備前：2019年11月平日、整備後：2021年11月平日

企業立地が進展し、地域経済が活性化

- 新東名の整備に伴い、津波の被害を受けにくい内陸部の開発が進み、**企業立地が進展**しています。
- 静岡県の実績は、特に東名・新東名沿線地域での増加率が高く、製造業従業者数も増加するなど、**地域経済の活性化に貢献**しています。

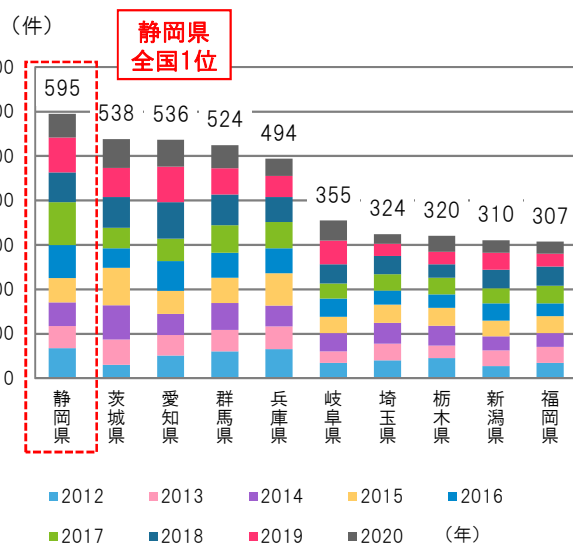
新東名の整備を契機として地域経済が活性化

《工業団地位置図》

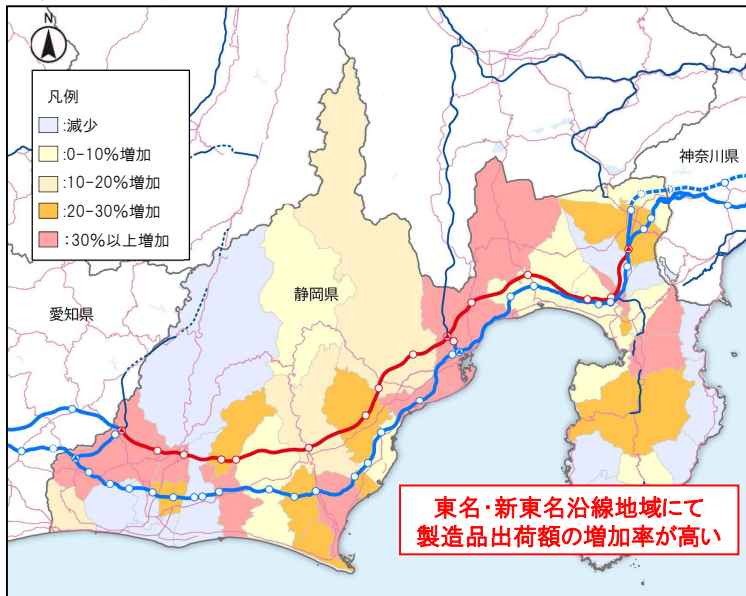


出典:静岡県の企業立地ガイド、各沿線自治体HP

《2012年～2020年工場立地件数全国TOP10》

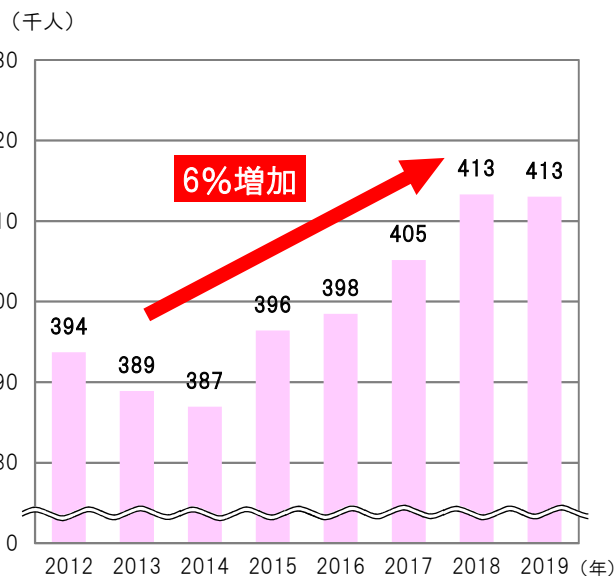


《静岡県の製造品出荷額増減率(2011年-2018年)》



出典:経済産業省 工業統計(市町村別データを基に作成)

《静岡県の製造業従業者数の推移》



出典:経済産業省 工業統計

《沿線自治体の声》



新東名のIC周辺の富士山フロント工業団地等を中心に昨年7～8月にかけて募集を行った全6区間において進出企業が決定しました。また、**企業の進出**が進んできたことで**雇用の創出**にもつながっております。

出典:2022年2月ヒアリング調査結果

《沿線自治体の声》



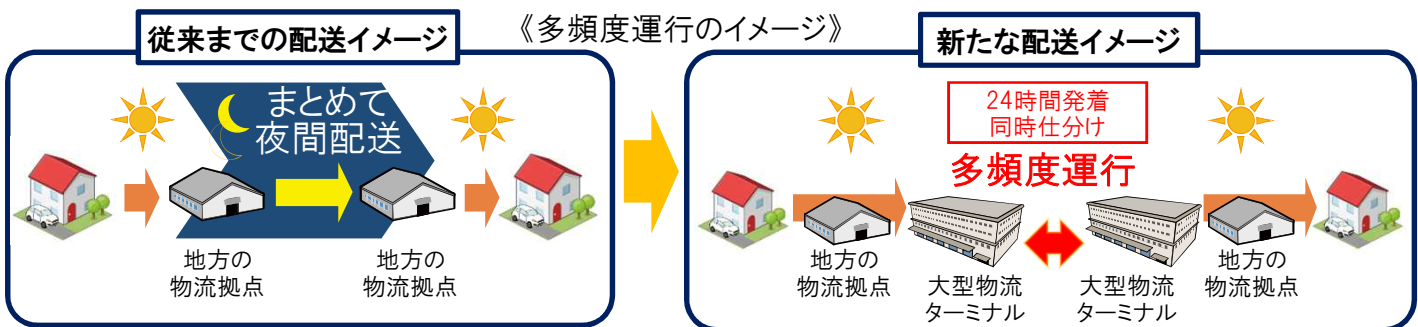
新東名のIC周辺地区を「稼ぐ拠点」として位置づけ、産業集積等による新たなまちづくりに取り組んでいます。当該地区で一定面積以上の用地取得をして新たな雇用創出を行う企業も複数あり、**地域経済の振興に寄与**していると感じています。

出典:2022年2月ヒアリング調査結果

日本の物流の高度化・利便性向上に貢献

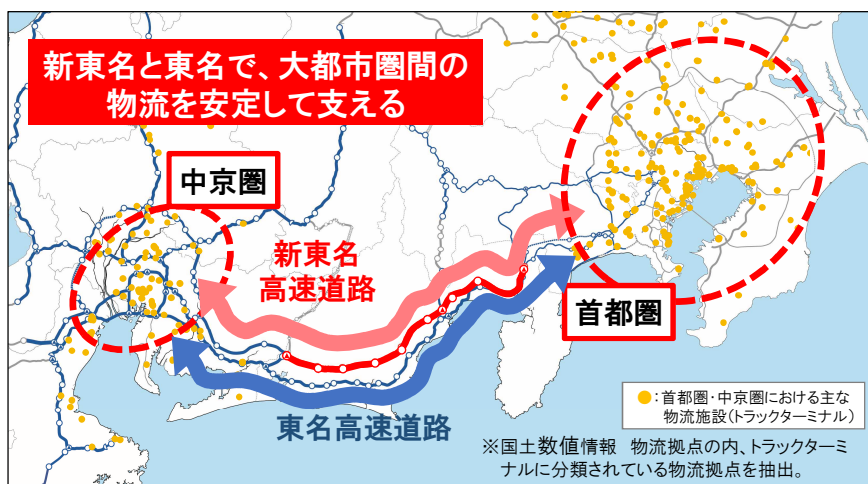
○都市間の安定的な移動が可能となったことを背景に、物流事業者による大型物流ターミナルの開設が進み、三大都市圏間の当日配送サービスが実現するなど**物流が高度化**しており、新東名の開通は暮らしの利便性向上に貢献しています。

三大都市圏間の当日配送を可能とする「物流の高度化・利便性向上」に寄与



- ・ダブルネットワーク整備による時間信頼性の向上により、日中時間帯の長距離幹線輸送が可能となり、首都圏・中京圏における大型物流ターミナルの開設、三大都市圏間での多頻度運行による当日配送可能圏の拡大に寄与しています。
- ・安定した配送運行の実現や所要時間の短縮により、物流トラックドライバーの負担軽減、安全性の向上に寄与しています。

《大都市圏に立地が進む物流施設(トラックターミナル)※の立地》



出典：国土数値情報(物流拠点H25)

《物流事業者の声》

多頻度運行では24時間タイムスケジュール通りの運行が絶対条件となり、いかに時間軸を崩すことなく運行を継続させるかがカギになります。東名・新東名がダブルで並走していることは、弊社としては安心につながります。

出典：2022年2月ヒアリング調査結果

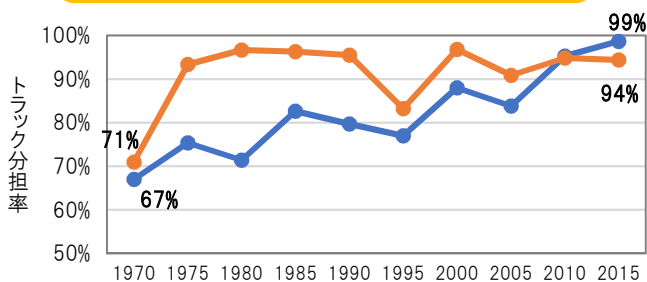


大型物流ターミナル

TOPICS 日本経済を牽引する三大都市圏間の物流を支える高速道路

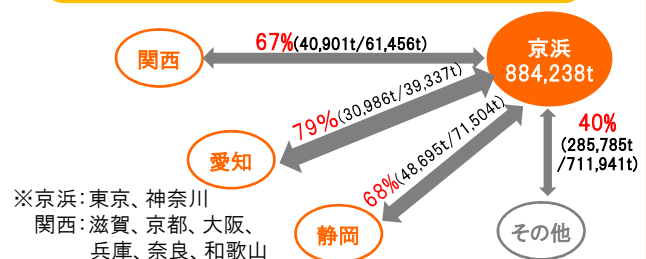
- ・三大都市圏間の物流は、年々トラック輸送の比率が高まっており、近年は9割以上を担っています。
- ・三大都市圏間を結ぶ物流の約7割は高速道路を利用しており、高速道路は日本経済を牽引する三大都市圏間の物流の基幹ルートとして、モノの輸送に貢献しています。

三大都市圏間を結ぶトラック輸送の割合



※数値は2015年の3日間調査 出典：物流センサス(国土交通省)

三大都市圏間を結ぶ高速道路の利用割合



【凡例】

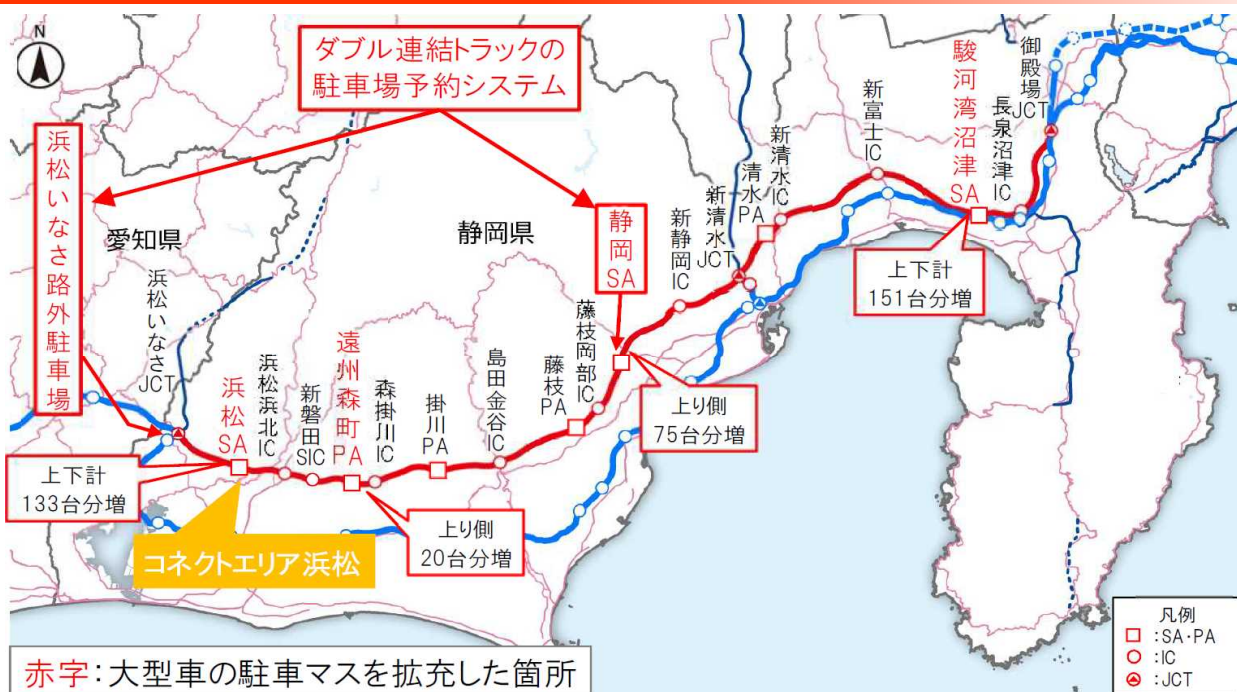
○%：高速道路利用割合 (高速道路利用貨物量/地域間貨物量)

※数値は2015年の3日間調査 出典：物流センサス(国土交通省)

物流の未来を支える新しい取組みに挑戦

- 駐車マスの拡充に加え、ダブル連結トラック専用駐車場や路外駐車場の整備、中継物流拠点の整備など、長距離ドライバーの労働環境改善を下支えしています。
- わが国の物流に関する生産性向上やドライバーの労働環境のさらなる改善に向け、**物流の未来を支える新しい取組みに挑戦**しています。

長距離ドライバーの労働環境改善を下支え



《コネクティア浜松の整備》



《中継輸送イメージ》

ドライバー交替方式の場合



《ダブル連結トラック専用駐車場整備》



ダブル連結トラックの駐車場だけでなく、大型車の駐車マスの拡充など、インフラ整備に取り組んでいます。

《浜松いなさ路外駐車場》



ドライバーの確実な休憩機会を確保するため、浜松いなさIC付近にダブル連結トラック専用駐車場を整備しました。

中継物流拠点として整備されたコネクティア浜松では、ドライバーの交代またはトレーラー・トラクタを交換し、長距離運行を複数のドライバーで中継することで、各ドライバーが日帰りで勤務できるようになりました。

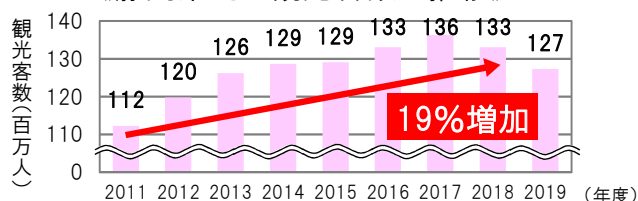
静岡に来て、見て、楽しんでもらえるように

- 新東名の開通以降、静岡県の観光客数は増加し、**観光振興に寄与**しています。
- 東名・新東名は、**インバウンドのゴールデンルート**を形成し、より多くの外国人観光客が静岡県へ訪れるようになりました。

静岡県の観光振興に貢献



《静岡県内の観光客数の推移》



※観光施設(地点)、スポーツレクリエーション施設、行祭事及びイベント等への入場者・参加者数等を集計

2018年度はNHK大河ドラマの放映終了や悪天候によるイベントの中止等、2019年度は新型コロナウイルス感染症拡大等が影響し減少

出典：静岡県観光交流の動向

《利用者の声》



(60代男性)

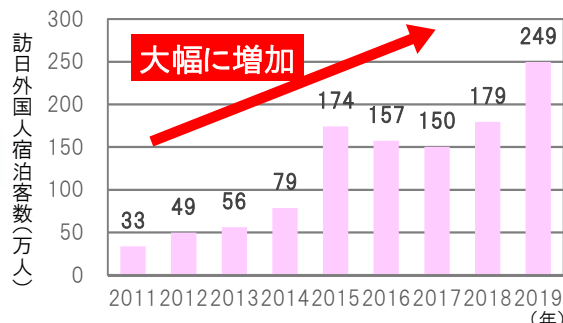
一時期、駿河湾へ泊まりかけでの釣行の際に、夜中に出発して**何回も走った高速**です。

出典：2021年10月WEBアンケート調査結果

インバウンドのゴールデンルートを形成



《静岡県のインバウンド需要》

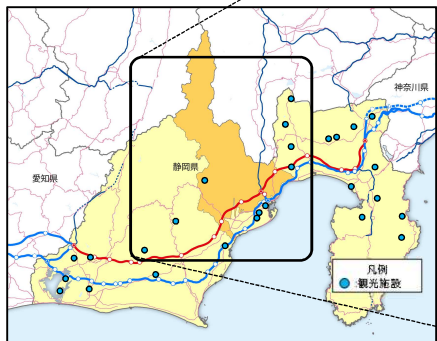


出典：宿泊旅行統計

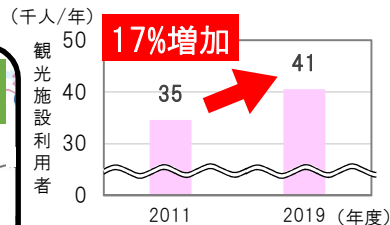
静岡県への訪日外国人宿泊客数を集計

TOPICS 静岡市のオクシズ(中山間地域)の地域振興に寄与

静岡市では、豊かな自然が残る地域を多くの人々に親しみを持ってもらえるよう、「奥静岡」=「オクシズ」の愛称をつけ、PRしています。



《オクシズ地域の観光施設利用者》



出典：静岡市提供資料

《沿線自治体の声》



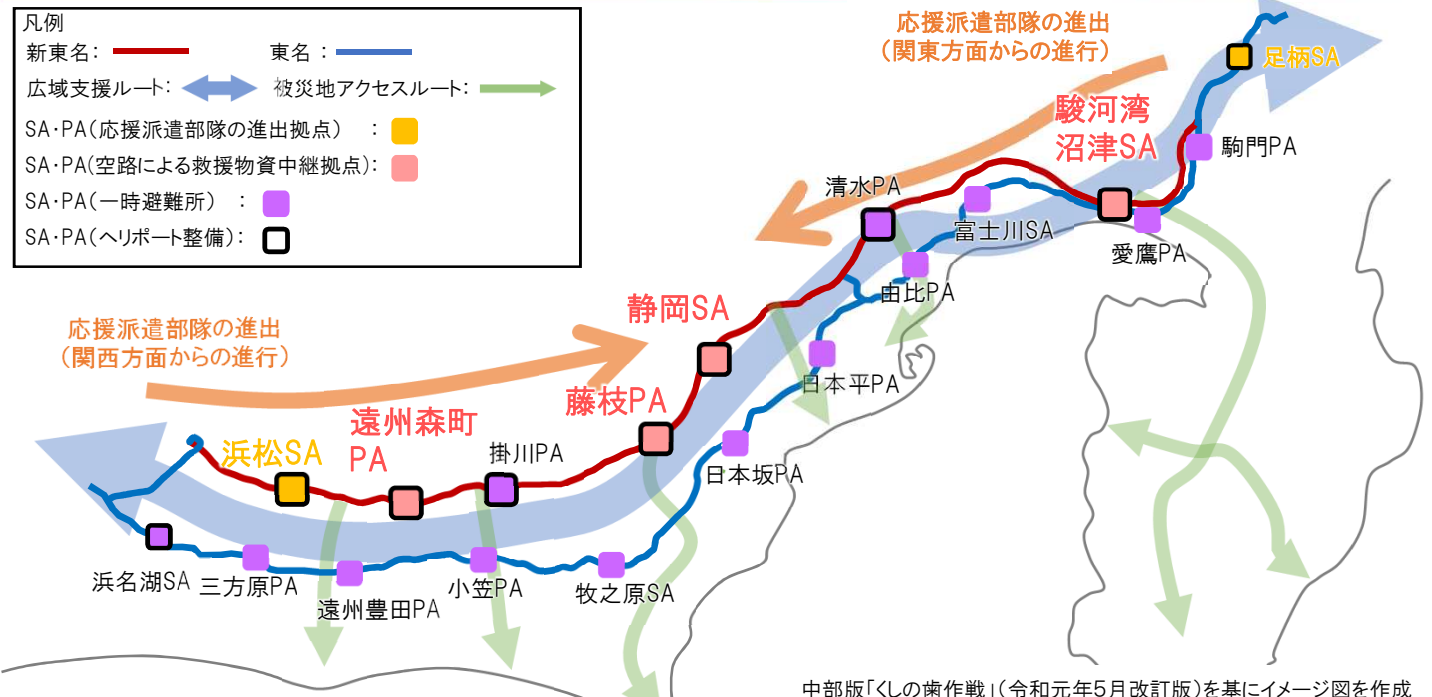
新東名の開通により、**交流が拡大**し、オクシズ(中山間地域)施設で入込客数が増加する等、多くの効果がもたらされました。

出典：2022年2月ヒアリング調査結果

命を守る高速道路

- 新東名は、東名とともに南海トラフ巨大地震の津波等により甚大な被害を受けた地域での救援・救護活動支援のための広域支援ルートとして、**重要な路線に指定**されています。
- 内陸部に位置する新東名のSA・PAは、応援派遣部隊の進出拠点や空路による救急搬送等の中継地点に位置づけられており、**地域の防災機能の強化**や**地域の救急医療**に貢献しています。

人命救助のための広域支援ルートに指定



中部版「くしの歯作戦」(令和元年5月改訂版)を基にイメージ図を作成

南海トラフ地震における静岡県広域受援計画、静岡県地域防災計画などにおいても、東名・新東名が重要な路線として位置づけられている

SA・PAを利用した地域の救急医療への貢献

《SA・PAの防災機能強化》

大規模地震などが発生した際に、自衛隊や消防、警察などの進出拠点として、また、高速道路をご利用のお客さまや周辺地域の皆さまの一時避難場所として活用することを想定し、防災機能の強化を進めています。

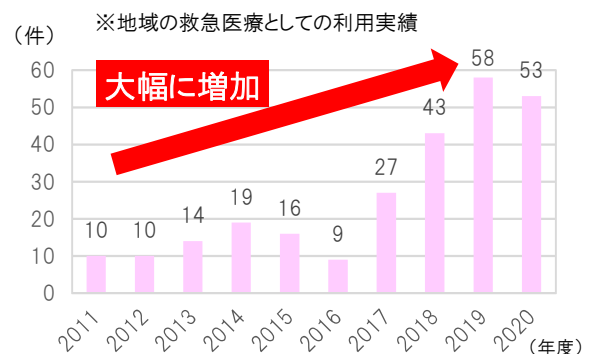


ドクターヘリ

防災拠点として機能する高速道路の休憩施設イメージ

写真提供: 聖隷三方原病院

《ドクターヘリの東名・新東名利用実績》



《医療従事者の声》

SA・PAのヘリポートにドクターヘリを離着陸させていただき、消防機関と連携して活動することができています。上り下りの各SA・PAにあるため、**災害現場にアクセスしやすくなりました。**

出典: 2022年2月ヒアリング調査結果

多様なニーズに対応したSA・PAに

○新東名では、長距離ドライバーへの対応や、一般道側からの入口である『ぷらっとパーク』の整備、地域の魅力を発信するイベントの開催など、**多様なニーズに対応**するサービス・機能を取り入れた『NEOPASA(ネオパーサ)』を展開し、SA・PAの高度化の先駆けとなりました。

NEOPASAの利用状況



《NEOPASAの利用者数(累計)》

※静岡県内のNEOPASAの利用者数の合計



観光客の目的地となるSA・PAへ

NEOPASA駿河湾沼津では、駿河湾を一望できる眺望を生かしたくつろぎの空間を整備しています。



NEOPASA駿河湾沼津(上り)からの眺望

《利用者の声》



(40代男性)

駿河湾沼津SAから見下ろす街並みとキラキラ光る駿河湾の風景は子供達のお気に入り場所になっています。

出典: 2021年10月WEBアンケート調査結果

長距離ドライバーにも優しい機能

長距離ドライバーが休憩・リフレッシュできる「ドライバース・スポット」を設置しています。



ドライバース・スポット
(シャワー・コインランドリー、軽食コーナー、リフレッシュブースなど)

地域にも開かれたSA・PAへ

一般道側からの入口である「ぷらっとパーク」には、SAで60台以上、PAで30台以上の駐車場が整備されています。

NEOPASA内のイベントスペースを活用し、定期的に地域活性化イベントを開催しています。



一般道側からの出入口



一般道側駐車場



ジュニア太鼓フェスティバル
(NEOPASA静岡)



地域の小学校との連携
(NEOPASA浜松)

《利用者の声》



(30代男性)

一時期ぷらっとパークにハマってまして、NEOPASA浜松、遠州森町PA、掛川PAなどパーキングエリアやサービスエリアめぐりをしたのが楽しかったです。



(30代女性)

サービスエリアには沢山の行ったことのないお店があってテンションが上がりました！ご飯も美味しかったです！また行きたいね、と話題になる場所ですね。

出典: 2021年10月WEBアンケート調査結果

E1A 新東名高速道路(御殿場JCT～浜松いなさJCT)開通10周年

【参考】さらに革新的な高速道路へ

～最先端の事業運営を実現し、次世代の高速道路空間を創造～

○ NEXCO中日本では、次世代技術を活用した革新的な高速道路マネジメント「i-MOVEMENT(アイ・ムーブメント)」プロジェクトに取り組んでいます。



「i-MOVEMENT(アイ・ムーブメント)」プロジェクトの取組み

i-MOVEMENTは、最先端のICT技術・ロボティクス技術の導入により、人口減少などの高速道路を取り巻く環境の激変に対応しつつ、高速道路モビリティの進化を目指すNEXCO中日本の活動（ムーブメント）を表しています。
innovative - **M**aintenance & **O**peration for **V**ital-**E**xpressway **M**anagement with **E**fficient “**N**ext generation” **T**echnology
 (次世代技術を活用した革新的な高速道路保全マネジメント)

情報収集・取得

分析・解析・予測・指示

運用(実施)・サービス提供



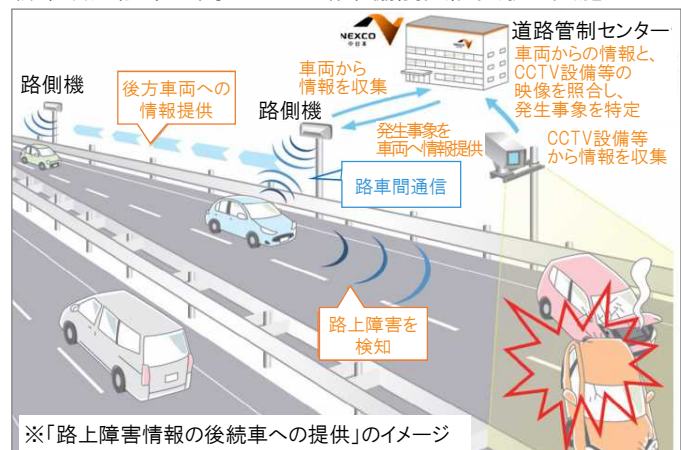
全線常時監視の対応イメージ

全線を常時監視し、事象への対応や情報の提供をさらに迅速化



自動運転時代に向けた取組み

新東名建設中区間において路車協調実証実験を実施予定



E1A 新東名高速道路(御殿場JCT～浜松いなさJCT)開通10周年

【参考】さらなるネットワークの拡充

～静岡県内外の各地がどんどん近くに～

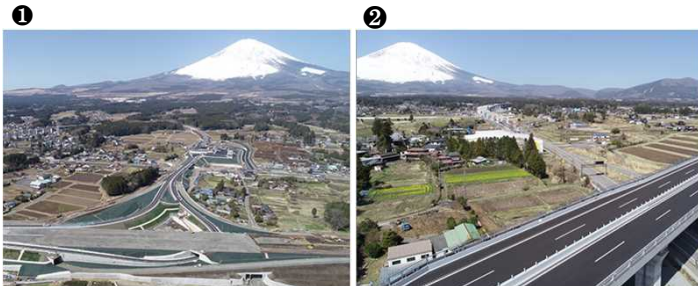
○新東名は、東名とのダブルネットワークを形成するだけでなく、静岡県周辺で拡大を続ける広域道路ネットワークの基幹路線となっています。

新東名及び周辺道路ネットワークの開通状況



新東名(新御殿場IC～御殿場JCT)

新東名(新御殿場IC～御殿場JCT)は2021年4月10日に開通しました。



新東名(伊勢原大山IC～新秦野IC)

新東名(伊勢原大山IC～新秦野IC)は2022年4月16日に開通する予定です。



(2022年1月時点)

新東名(新秦野IC～新御殿場IC)

新東名(新秦野IC～新御殿場IC)は現在建設中です。



(2022年1月時点)

中部横断(新清水JCT～双葉JCT)

中部横断(南部IC～下部温泉早川IC)が2021年8月29日に開通し、静岡県～山梨県間が全線開通しました。

